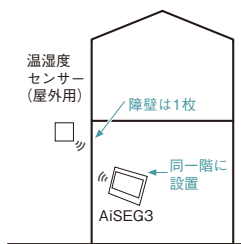


- AiSEG3と温湿度センサー（屋外用）、宅配ボックス用センサー送信器などの屋外設置機器は同一階に設置することをおすすめします。また、機器間には鉄筋コンクリートやガラスウールなどの断熱材を用いた障壁は1枚までとすることを推奨します。（推奨範囲内でも家具などの設置状況においては、電波の届かないことがあります。）



- 下記のような使用環境では、電波ノイズを受けたり電波の到達距離が短くなります。このような場合は動作しないことがありますのでご注意ください。

- 機器間に金属や鉄筋コンクリートなどの電波を通しにくい障壁がある。
- 機器間にある壁面内の断熱材にアルミ箔を貼り付けたガラスウールを使用している。
- 機器の周辺が金属物で囲まれている。（スチールキャビネットの間、カラオケボックスなど）
- 金属物の壁面に機器を取り付けている。
- 操作する人の体の向きで電波を遮っている。
- 電子レンジやパソコンなどの家庭用電気製品やOA機器が機器の2m以内にある。
- 機器の近くで、直流電圧で駆動するベルやモーターなどの機器が動作している。
- 機器の近くで、携帯電話やPHS電話などを使用している。
- 機器の近く（10m以内）で、マイクロ波治療器を使用している。
- 近くに、テレビ・ラジオの送信所近辺の強電界地域または各種無線局がある。

■機器設置場所の目安

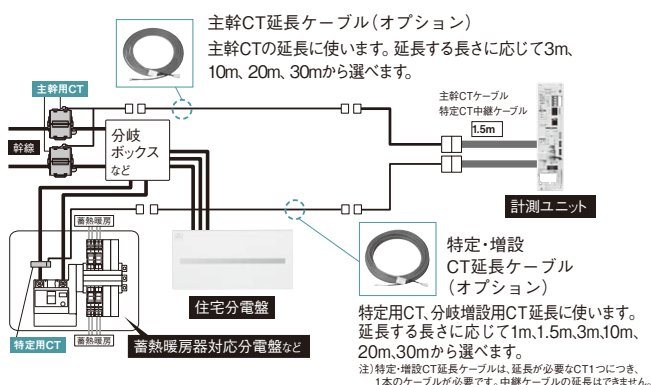


■エコネットライト対応計測ユニットの設置について

●主幹・分岐CT延長ケーブルの考え方

次のようなケースでケーブル長さが足りない場合には、必ずCT延長ケーブル（オプション）をご使用ください。（専用ケーブル以外のご使用はできません。）

- 注) ●同一電力契約で住宅分電盤を複数台接続する場合。
●住宅分電盤と太陽光発電システム用連系ブレーカなどを離して設置する場合。
●床暖房や蓄熱暖房などの専用分電盤を設置する場合。



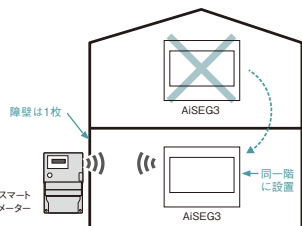
AiSEG3とスマートメーター連携（Bルート活用）に関する設計上のご注意

注) AiSEG3とスマートメーターの連携（Bルートのご活用）をされる場合のみ、以下のことを必ずお守りください。

- スマートメーターの仕様が変更された場合などにAiSEG3のファームウェア更新が必要となる可能性があるため、AiSEG3をインターネット回線に接続することをおすすめします。インターネット回線に接続すると、AiSEG3の画面操作から最新のファームウェアをダウンロードすることができます。

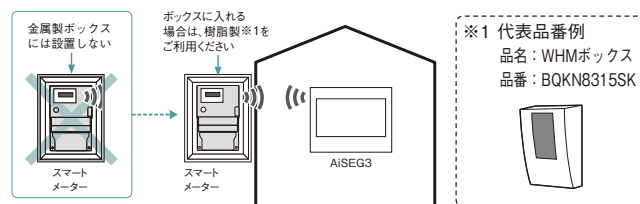
- できるだけスマートメーターとの距離が近くなる位置に本製品を設置してください。

- 使用場所ではあらかじめ動作確認を行ってください。設置後、使用環境（電波環境）が変わることがありますので、定期的に電波到達確認を行ってください。

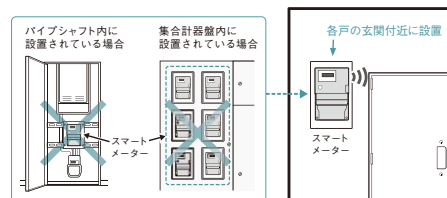


- ① AiSEG3とスマートメーターは同一階に設置してください。また、AiSEG3とスマートメーター間に鉄筋コンクリートやガラスウールなどの断熱材を用いた障壁は1枚までとしてください。（推奨範囲内でも家具などの設置状況においては、電波の届かないことがあります。）

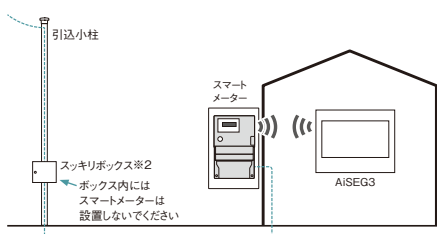
- ② スマートメーターをボックスに収納する場合は、樹脂製ボックスを使ってください。金属製ボックスではAiSEG3と通信できません。また、スマートメーターはできるだけ建物の壁面付近に設置してください。



- ③ スマートメーターがパイプシャフト内や集合計器盤内に設置されている場合、AiSEG3と通信できません。スマートメーターは各戸の玄関付近に設置してください。

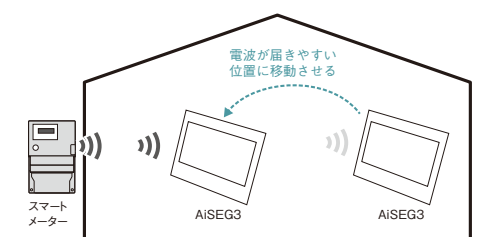


- ④ 引込小柱（パナソニック製品名：スックリボール）を利用する場合、スマートメーターはボール部には設置せず、建物壁面付近に別設置してください。



- ※2 電話・CATV保安器などを収納するための点検窓なしタイプのボックスもあります。
●代表品番例
品名：スックリボックス
品番：DDB7503KS

- ⑤ スマートメーターとAiSEG3が通信できない場合、AiSEG3をスマートメーターに近い位置に移動してください。AiSEG3とスマートメーターの連携をする場合は、AiSEG3の壁掛け取り付けは推奨できません。（AiSEG3を移動できないため）



注) ●上記の内容は、AiSEG3（7型モニター付）MKN7140/MKN7141での解説ですが、MKN706も同様です。

- スマートメーターとAiSEG3間の通信距離を延長する中継器はありません。
- AiSEG3に対応するスマートメーター（AIF（旧SMA認証）認証取得品）は、「920MHz帯無線（Wi-SUN方式）」です。

- スマートメーターがパイプシャフト内や集合計器盤内に設置されている場合は、電波が届かず通信できないため、玄関付近に設置してください。
- スマートメーターの設置環境によっては、AiSEG3をスマートメーターに近い位置に移動させる必要があります。
- スマートメーターの登録には、「電力メーター情報発信サービス」（Bルートサービス）の申し込みが必要です。（お住まいの地域の電力送配電会社へのお申し込みとなります。）
- スマートメーターの認証ID、パスワードおよび計器番号は、お住まいの地域の電力送配電会社にご確認ください。
- 本製品は電力線通信（PLC）方式のスマートメーターには非対応です。
- スマートメーターの仕様が変更された場合などにAiSEG3のファームウェア更新が必要となる可能性があるため、AiSEG3をインターネット回線に接続することをおすすめします。
- スマートメーターとの通信が途切れると、AiSEG3は深夜に再接続を試みます。再接続が成功するまでスマートメーターの表示ができなかったり、グラフに欠損を生じる場合があります。また、再接続を試みる間（最大3分間）、空気環境のグラフに欠損を生じたり、エアコンなどの機器制御ができません。
- インターネット回線に接続すると、AiSEG3の画面操作から最新のファームウェアをダウンロードや専用アプリ「スマートHEMSサービス」を利用することができます。
- インターネット回線に接続せずにスマートメーターと本製品を接続した場合、自動的に時刻同期は行われますが最大3分間の誤差が生じることがあります。